資料１

技能五輪国際大会について

１　技能五輪国際大会の概要

「技能五輪国際大会」は国際的に技能を競うことにより、参加国の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、青年技能労働者（満 22 歳以下）の国際交流と親善を目的に、1950 年（昭和 25 年）から 2 ヶ国（スペイン・ポルトガル）で始まった。1971 年（昭和 46 年）まで毎年開催されていたが、それ以後原則 2 年ごとに開催されている。約 50 カ国･地域から約 1,000 人の選手･関係者が参加し、40 職種以上の競技で技能を競う、大規模な大会である。

日本は 1962 年（昭和 37 年）にスペインで開催された第 11 回大会（ヒホン大会）から参加している。

２　ＷＳＩ（ワールドスキルズインターナショナル）とは

参加国の代表により技能五輪国際組織委員会（ＷＳＩ：ワールドスキルズインターナショナル）が１９６６年に設立され、大会はこの組織委員会の定めた規約に基づき、運営されている。

現在、７２カ国・地域の団体（2014 年 9 月現在）が参加しており、事務局はオランダにある。日本は、中央職業能力開発協会（東京）がメンバーとなっており、国際大会に日本選手団を派遣している。

３　過去の大会開催状況について

（１）過去１０年間の開催状況

回	開催年	開催国(開催都市)	参加国	競技職種	選手数	日本選手	日本のﾒﾀﾞﾙ獲得数			愛知県選手
							金	銀	銅	
37	2003	スイス（ｻﾞﾝｸﾄｶﾞﾚﾝ）	36	38	689	34	6	2	4	10
38	2005	フィンランド（ﾍﾙｼﾝｷ）	37	39	660	36	5	1	2	6
39	2007	日本（静岡）	46	47	812	51	16	5	3	13
40	2009	カナダ（カルガリー）	50	45	869	45	6	3	5	13
41	2011	イギリス（ロンドン）	48	46	925	45	11	4	4	13
42	2013	ドイツ（ライプツィヒ）	67	46	986	45	5	4	3	20

・　２０１３年ドイツ大会（ライプツィヒ）は６７カ国・地域、４６職種により開催された。近年、参加国・地域が増加している。

（参　考）過去の日本での開催実績

開催年	開催地
1970 年（19 回）	東京都
1985 年（28 回）	大阪府
2007 年（39 回）	静岡県

（２）国際大会で実施する競技職種について（第４２回ドイツ・ライプツィヒ大会）

ポリメカニクス	情報ネットワーク施工	製造チームチャレンジ	メカトロニクス	機械製図 CAD
CNC 旋盤	CNC フライス盤	石　　工	ビジネス業務用 IT ソフトウェア・ソリューションズ	溶　　接
印　　刷	タイル張り	自動車板金	航空機整備	配　　管
電子機器組立て	ウェブデザイン	電　　工	工場電気設備	れんが積み
左　　官	広告美術	移動式ロボット	家　　具	建　　具
建築大工	貴金属装身具	フラワー装飾	美容／理容	ビューティーセラピー
洋　　裁	洋菓子製造	自動車工	西洋料理	レストランサービス
車体塗装	造　　園	冷凍空調技術	IT ネットワークシステム管理	グラフィックデザイン
看　　護	構造物鉄工	曲げ板金	ビジュアル販売促進	試作モデル製作
プラスチック金型※				

- 網掛け（ゴチック）表記の職種は日本参加職種
- 正式職種：45 職種、デモンストレーション職種(※):1 職種　計 46 職種

４　２０１５年以降の国際大会開催状況について

開催年	開催国・地域	備　　考
2015 年 （平成 27 年）	第 43 回 ブラジル（サンパウロ）	
2017 年 （平成 29 年）	第 44 回 アラブ首長国連邦（アブダビ）	
2019 年 （平成 31 年）	第 45 回 未定	・ 2015 年 8 月　WSI 総会で決定 ・ ロシア、フランス、ベルギー、南アフリカの４カ国が立候補